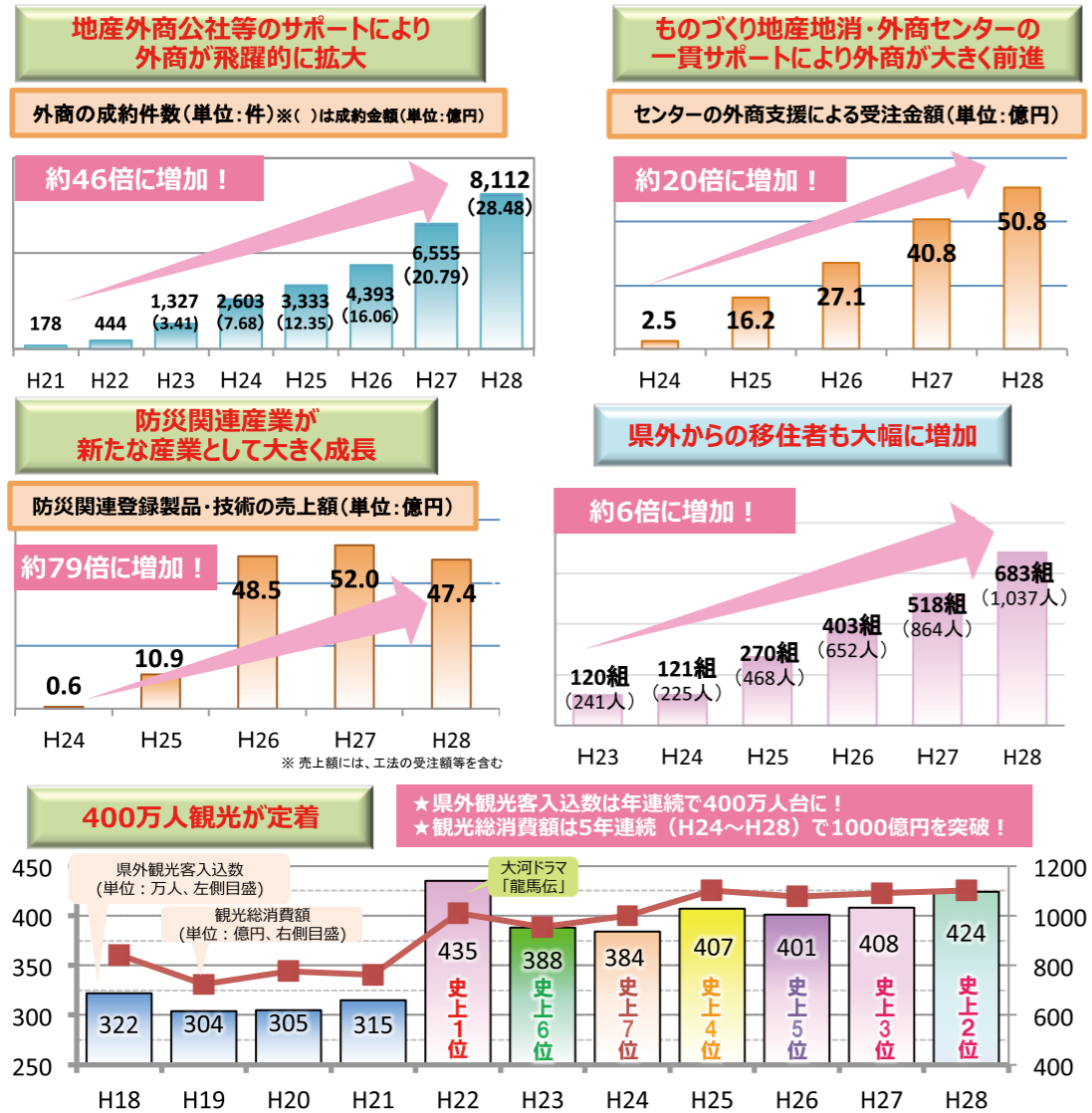


4 これまでの成果 (人口減少下においても拡大傾向に転じつつある高知県経済)

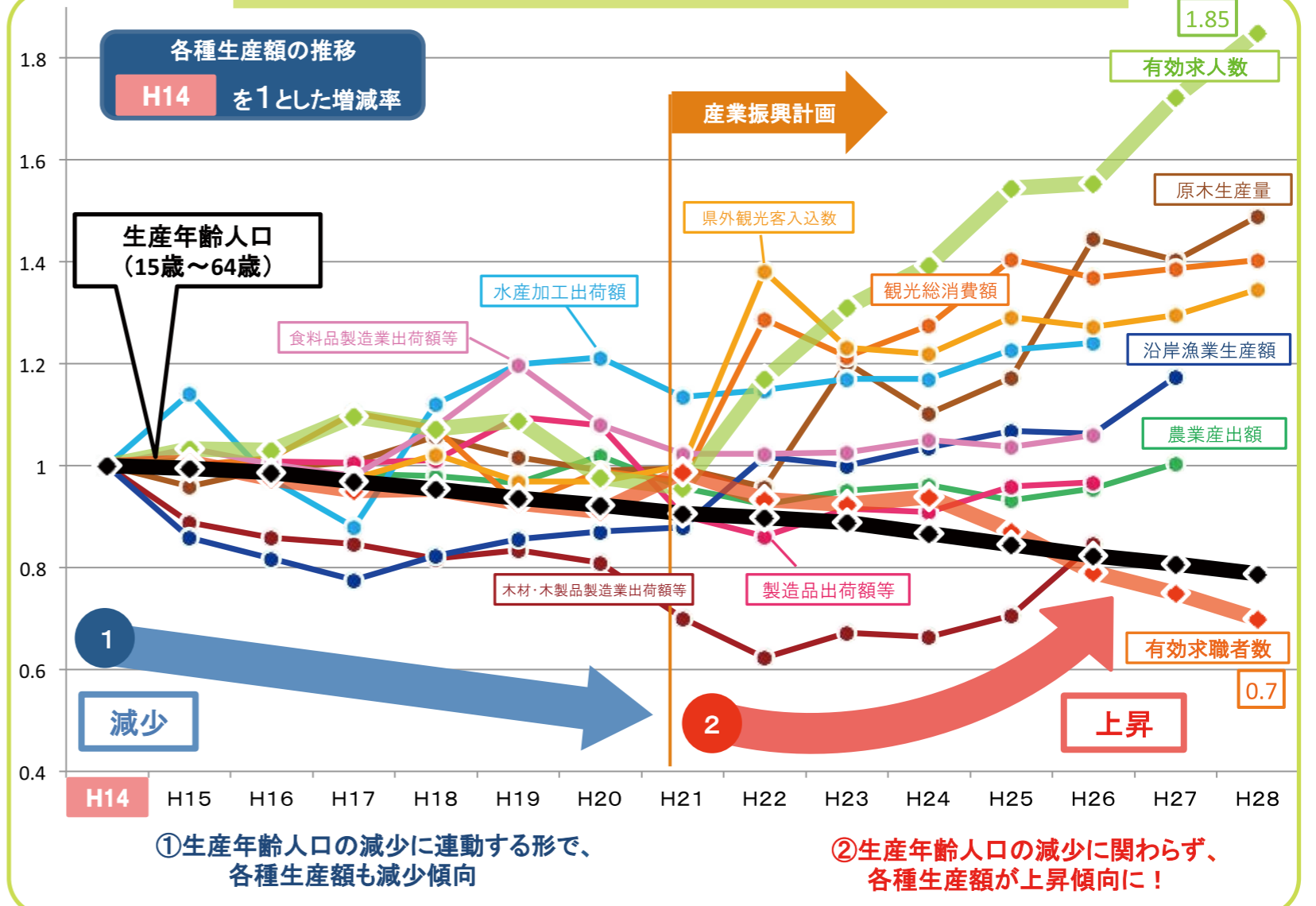


各分野で地産外商が大きく進み [表1]、長年にわたって、生産年齢人口の減少に連動する形で減少傾向にあった各種生産額が上昇傾向に転じてきました [表2]。
また、各分野で多くの雇用が生まれ、有効求人倍率は過去最高値を更新 (H28.12月, H29.4月: 1.17倍) する [表3] など、経済全体としても良い方向に向かっているものと見られます [表4]。

各分野で地産外商が大きく前進・移住者も大幅増加 [表1]



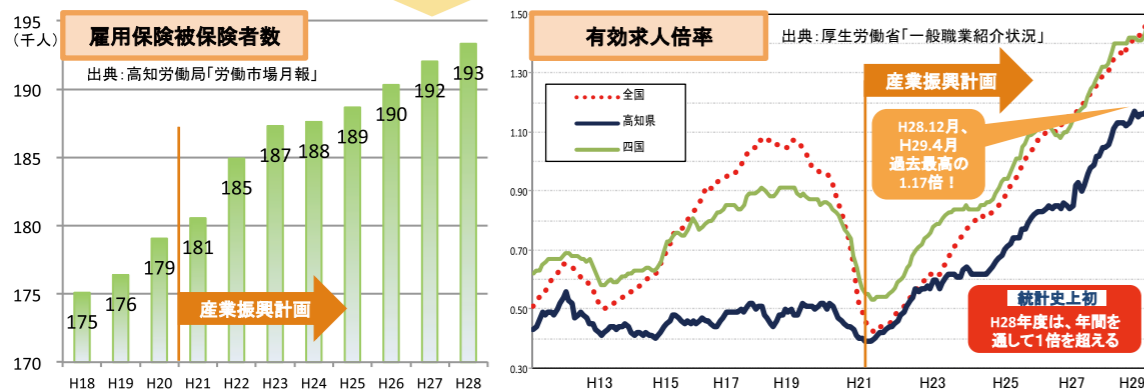
各種生産額が上昇傾向に転じる[表2]



地産外商の拡大などにより新たな雇用が増加 [表3]

県が定量的に把握できているものだけでも6千人を超える雇用を創出(下記参照)
これ以外にも、観光振興等により多くの雇用創出が見込まれるところ

- 地域アクションプラン(H21~27): 1,145人
- 企業立地(H21~27): 2,167人 [フル操業時の雇用創出計画値]
- 設備投資促進事業(H24~27): 102人
- 成長分野育成支援事業(H21~27): 200人
- 第一次産業の新規就業者(H21~27): 2,458人 [農業1,606人、林業543人、水産業309人]
- その他(木質バイオマス発電所等): 74人



経済全体は良い方向に向かっている [表4]

経済成長率

<産業振興計画の取り組み前と取り組み後の比較>

	H14年度値→H20年度値		H20年度値→H26年度値	
	6年間の増減率	1年あたりの平均増減率	6年間の増減率	1年あたりの平均増減率
人口	-4.3	-0.72	-4.8	-0.82
県内総生産(名目)	-11.3	-1.99	3.4	0.55
県内総生産(実質)	-6.3	-1.08	4.0	0.66

人口減少に伴って縮む経済から、人口減少下にあっても拡大する経済に構造が転換しつつある

1人当たり県民所得

